

今年度は、東部中学校区、速星中学校区の小中学校が、学力向上推進事業に取り組みました。工夫された実践や小中の相互協力等、具体的な取り組みや成果について紹介します。

「学力向上の基盤となる人間関係づくりを目指して」

東部中学校 東部小学校 柳町小学校

東部中学校区では、学力向上に向けて、「人間関係づくり(協働学習の導入)」「学習規律の確立」「家庭学習の習慣化」の3つを重点とし、取り組みました。

「人間関係づくり」では、①「協働学習」を授業の中で取り入れること、②コミュニケーション活動や学級づくりの研修を行うこと、③小中の交流を大切に、円滑な小中接続につながる活動を継続することを共通理解し実践しました。授業の中でどのように「協働学習」を取り入れているのかを知るために、それぞれの学校の通常学校訪問研修会や要請訪問研修会、学習参観に参加し合い、情報交換を行いました。また、小学校ではコミュニケーション活動や縦割り班活動の互見、中学校ではQ-U分析等、児童生徒理解の力や人間関係づくり、学級運営の力を高める研修を行いました。中学生が小学校に出向き小中合同で行う「あいさつ運動」や、夏休みの中学生による「アシスタントティーチャー」も継続して実施しました。小学生は中学生への憧れを、中学生は頼りにされた、役に立ったという満足感を味わうことができ、小中の垣根を低くする活動となりました。

「学習規律の確立」「家庭学習の習慣化」では、小中合同研修会を開き、地域の児童生徒について情報交換、実態把握を行い、9年間を見通しどのような力を育成したいのかを考えました。それを契機として、各学校で授業のルールや家庭学習の取り組み方について見直しを図りました。中学校の定期評価の期間に合わせて、小学校の家庭学習強化週間を設定するなど、小中と家庭が連携して家庭学習を習慣化できる仕組みづくりを行い実施しました。

今年度成果のあった取り組みを継続して、さらに学力向上の基盤となる人間関係づくりを着実に推進したいと考えています。



【アシスタントティーチャーの様子】

「学力向上を目指した小中連携の取り組み」

速星中学校 速星小学校 鶴坂小学校 宮野小学校 朝日小学校

速星中学校区では、これまでの活動を生かし、さらに子どもたちの学力向上につながるよう、夏休みに小中合同夏季研修会を実施しました。

当日は全部で11の部会に分かれて、小、中の教員が一緒になってテーマごとに協議しました。第1分科会は、中学校の期末考査のテスト期間に合わせて、校区の小学校と共に行ってきた「速星中学校区小中合同メディアコントロール週間」について、各校の取り組みと課題を話し合いました。第2分科会は、速星中学校で実施している自尊感情アンケートを校区内の小学校でも実施し、その結果の分析と自尊感情を高めるための方策について話し合いました。第3分科会は、さらに教科ごとに9の部会に分かれ、事前に校務支援システム(C4th)の掲示板で視聴した小学校や中学校の授業映像の情報をもとに、小中の連携等について話し合いました。研修会を通して、小学校と中学校の取り組みや授業の様子等を互いに知ることができ、大変実りの多い研修会となりました。校区小中学校の教員の小中連携への意識が高まり、小中のつながりを意識し、様々な教育活動を見直せたことは大きな成果であり、「さらにもこのようなことができるのではないか」など、次につながる貴重な案も生まれました。

今年度の取り組みを土台として、さらなる改善に努め、子どもたちの学力向上やすこやかな成長を目指していきたいと考えています。



【小中合同夏季研修会の様子】